

次期可燃ごみ施設整備室だより

第5号
平成30年6月

発行／出雲市経済環境部 環境施設課 次期可燃ごみ施設整備室

〒693-8530 出雲市今市町70

☎0853-21-6886 FAX 0853-21-6597



施設建設・運営事業の落札者を決定しました

次期可燃ごみ処理施設の建設・運営事業者の選定に当たり、出雲市次期可燃ごみ処理施設事業者選定委員会（委員長 川本克也氏：岡山大学大学院教授）は、先般、総合評価一般競争入札に参加した3つの企業グループの提案を審査し、事業内容及び入札価格を総合的に評価して、最優秀提案者を市に答申されました。（審査講評は、市ホームページに掲載しています。）

市はこの答申を受け、「JFEエンジニアリンググループ」を落札者に決定しました。代表企業であるJFEエンジニアリングは、国内トップクラスの170を超えるごみ焼却施設の建設実績があり、また本市が採用するストーカ式焼却炉も多く手掛けていることから、信頼のおける施設建設・運営が期待できる事業者です。

今後、9月議会の議決を得た後に落札者と契約を締結し、平成31年(2019)秋頃には建築工事に着手、平成34年(2022)4月までに稼働する予定です。

本号では、落札者から提案された施設の特徴や今年度以降の整備事業の全体スケジュールについてお知らせします。

【落札者】 JFEエンジニアリンググループ

代表企業：JFEエンジニアリング株式会社中国支店

構成員：JFE環境サービス株式会社

協力企業：福田組・今岡工業特定建設工事共同企業体

【落札金額】 250.8億円（税抜）〔建設費：155.95億円 運営費：94.85億円(20年)〕

【事業期間】 予定工期：平成30年(2018)10月～平成34年(2022)3月（設計期間含む）

運営期間：平成34年(2022)04月～平成54年(2042)3月

施設のイメージパース ～周辺環境と調和した先進的な景観デザイン～



ランプウェイを設けないことで、
建屋全体のボリュームを低減



歴史的な風土や雄大な自然を現代の素材
で表現した先進的なデザイン

「日が沈む聖地出雲」の幻想的な風景と
調和する新しいシンボル



事業者選定経過と今後の予定

| 年度 | 月 | 経過・予定 |
|---------------|-----|-------------------|
| H29 (2017) | 10月 | 入札公告 |
| | 11月 | 入札参加受付 |
| H30 (2018) | 3月 | 入札提案書類提出 |
| | 5月 | ヒアリング、審査、開札 |
| | 6月 | 選定結果の答申 |
| | 6月 | 落札者の決定、公表(6月議会報告) |
| | 7月 | 基本協定締結 |
| | 9月 | 事業契約締結(9月議会提案) |
| | 10月 | 建築・プラント設計開始 |



長岡市長(左)へ答申書を手渡す川本委員長(右)

新しい可燃ごみ処理施設の主な特徴を紹介します

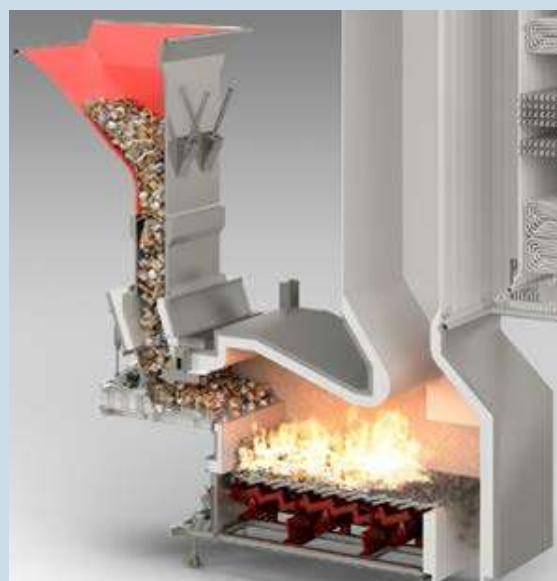
JFEエンジニアリンググループの提案内容は、多くの実績と豊富な経験に基づく実現性の高い優れたもので、市の基本方針である「安全・安定・安心な施設」、「環境にやさしい施設」、「経済的・効率的な施設」、「エネルギー循環型施設」、「災害に強い施設」を十分に実現することが可能であると判断されました。以下に、JFE エンジニアリンググループから提案を受けた施設の主な特徴を紹介します。(今後の設計協議によって一部変更になる場合があります。)

☆安定したごみ処理を実現する燃焼技術

- 高温空気燃焼技術、高性能ストーカ（火格子）により、安定した低空気比を達成し、**排ガス中の有害物質**(窒素酸化物、一酸化炭素、ダイオキシン類)の発生を低減します。
- 最新の燃焼・運転技術により**公害防止基準を確実に遵守**します。

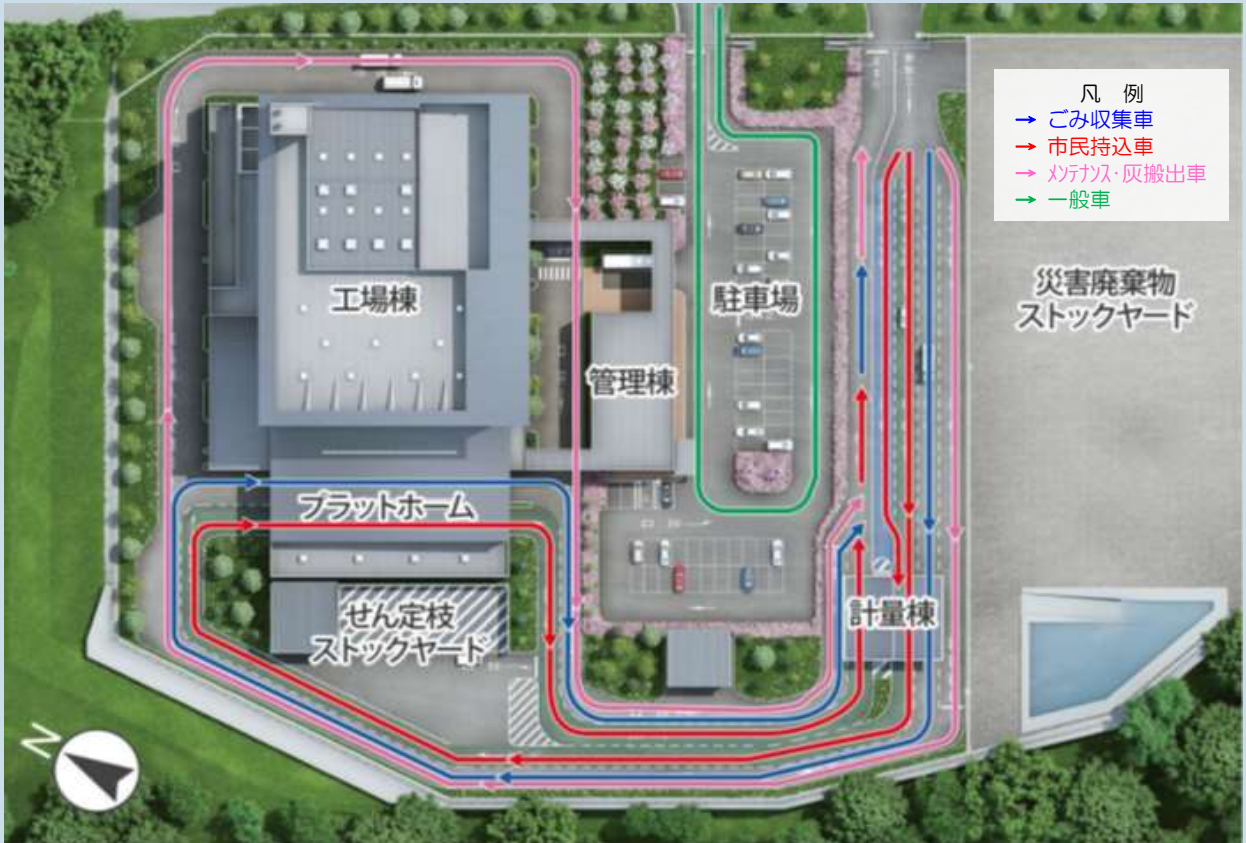
☆国内最高レベルの発電効率 25.6%を達成

- 高効率発電システムの採用及び省エネ化の徹底により、**売電量を最大化**します。
- 売電量の最大化によって、**売電収入を確保**し、市の**財政負担の軽減**と、**二酸化炭素削減**の両面に大きく貢献します。



高性能ストーカ式焼却炉の構造

☆すべての人が安心して訪れることができる機能的で安全な動線計画



機能的と安全性を高める5つのポイント

- ①ランプウェイ(※)のない**シンプル**な動線により、**交差がない安全な動線**を実現します。
(※)プラットフォームを2階に配置する場合に必要な傾斜路のこと
- ②工場棟・来場者・搬入搬出**ゾーン**を**明確に分け**、**機能的と安全性**を確保します。
- ③**ゆとりある道路幅と車線数**を確保することで、**安全かつ渋滞を回避**します。
- ④ごみ収集車と市民持込車の**動線を完全分離**することで、初めての方でも**迷うことのない確実な誘導**を行います。
- ⑤受付業務効率化システム(※)を導入することで、**受付時の渋滞を防止し、受付業務を効率化**します。(※)インターネット事前受付システムと車両ナンバー読取装置の設置

☆大規模災害の経験に基づいた防災機能の確保

- ・水、薬剤、燃料等を常時確保して、大規模災害があっても**3週間以上の自立運転(※)**を可能とし、継続的な防災機能の保持を図ります。(※)1炉運転の場合
- ・代表企業の関連施設と連携し、**万全のバックアップ体制**を構築します。

☆地域とつながる施設

- ・対話を大切にした、**開かれ・親しまれ・信頼される施設**を目指し、少人数なら予約なしでも自由に見学できる施設とします。
- ・**地元企業の積極活用**、**施設運転員の地元雇用率 100%**を目指し、地域貢献による共生を図ります。



今年度以降の事業全体の整備スケジュール

整備スケジュールは以下のとおり予定しています。環境影響評価書の公告を行う本年10月頃から敷地造成工事に着手します。また、今年度から古志地区の周辺整備事業も計画的に実施していきます。

| 事業名 | 年度 | H30 (2018) | H31 (2019) | H32 (2020) | H33 (2021) | H34 (2022) | H35 (2023) |
|--------------------|----|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 環境影響評価書(公告・縦覧) | | ● | | | | | |
| 都市計画変更決定(告示・縦覧) | | ● | | | | | |
| 敷地造成工事 | | ←→ | | | | | |
| 施設建設・運営事業者選定(契約締結) | | → | | | | | |
| 施設建築工事、工事監理 | | ←設計 | | →施工/性能試験 | | | |
| 市道古志86号線外道路工事 | | ←→ | | | | | |
| 水道工事 | | ←→ | | | | | |
| 電気(送電線)工事 | | | ←→ | | | 試運転 | |
| 試運転・本稼働 | | | | | ←→ | →本稼働 | |
| 周辺整備事業 | | ←→ | | | | | |



工事の概要を説明します。(工期は変更になる場合があります。)

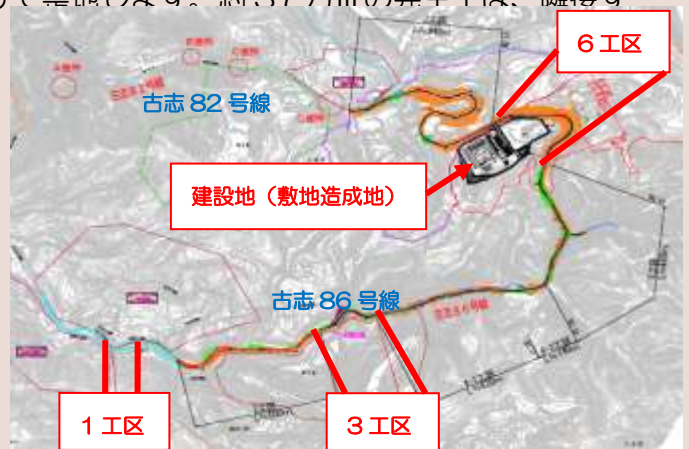
(1) 敷地造成工事 [H30年(2018)10月～H32年(2020)3月]

約3.9haの造成面積を最大で20m切り下げて整地します。約37万m³の発生土は、隣接する採石場に搬入し、埋め戻し土として有効利用します。

(2) 市道古志86号線外道路工事

[H30年(2018)8月～H33年(2021)9月]

上新宮町内から建設地までの約2.1kmを7m幅員の2車線道路に整備します。6つの工区に分けて実施し、今年度は、1、3、6工区で工事に着手します。



(3) 給水施設工事 [H30年(2018)8月～H33年(2021)9月]

芦渡町地内から建設地までの約5kmに給水施設を新設します。今年度は芦渡町から上新宮ふるさと農道最高地点までの給水管敷設等に着手します。

(4) 周辺整備事業

周辺整備事業のうち、今年度は、小学生の交通安全確保のため次の事業に取り組みます。

①古志地区下新宮地内 新宮川左岸歩道修繕 [H30年(2018)7月～9月]

新宮川左岸歩道の老朽化した転落防止柵を修繕します。

②古志地区井上地内 市道古志67号線歩道整備

[H30年(2018)11月～H31年(2019)3月]

歩道がなく通学に危険な箇所歩道を新設します。

